

畜産酪農懇談会 第1回セミナー

日 時：平成30年6月19日（火）13：00～16：00

主 催：公益社団法人 福島相双復興推進機構

後 援：福島県、農林水産省東北農政局、公益社団法人福島県畜産振興協会、
JA 福島中央会

場 所：原町生涯学習センター サンライフ南相馬
(住所：南相馬市原町区小川町 322-1)

【配付資料一覧】

- ・畜産酪農懇談会セミナー 第1回 配付資料一覧・次第（本紙）
- ・講演者等プロフィール
- ・畜産酪農懇談会について・趣旨
- ・アンケート

【 次 第 】

1. 開催の挨拶 福井 邦顕（公社）福島相双復興推進機構 理事長
13：00～13：05〔5分〕

2. セミナー

座長挨拶： 内藤 廣信 氏（一社）全国肉用牛振興基金協会 前参与
13：05～13：10〔5分〕

(1) 講演

① 「(公社) 福島相双復興推進機構(官民合同チーム)
営農再開グループの活動報告」

中東 一 営農再開グループ長 13：10～13：25〔15分〕

② 基調講演～相双地域の畜産・耕畜連携の目指す姿

萬田 富治 技術参与 13：25～13：40〔15分〕

③ 全国の先進経営事例紹介

(ア) 省力低コスト酪農経営と耕畜連携のための良質完熟たい肥生産

眞嶋 雄二 氏 (眞嶋牧場) 13:40～14:10〔30分〕

(イ) ひと・ウシ・田んぼで町おこし！！

作業分担で農業の活性化～耕作放棄地は宝の山～

益子 光洋 氏 ((株) 益子農林) 14:10～14:40〔30分〕

(2) 相双地域の畜産事業者等からの発言及び意見交換会

14:40～15:30〔50分〕

座長：内藤 廣信 氏

◎座長、講師、会場の皆様との意見交換。

(※いったん閉会する時間は、15:30を目途としています。)

3. 参加者間の交流 (閉会后) ～16:00

◎講師や会場の皆様との自由な交流時間

(※意見交換のお時間に、ご質問が出来なかった場合などには、個別に講師へ質問が出来る時間ですので、是非ともこの時間をご活用ください。)

【問い合わせ先(事務局)】

公益社団法人 福島相双復興推進機構

(福島相双復興官民合同チーム)

営農再開グループ 六次化支援室

住所：〒960-8031

福島県福島市栄町6番6号 NBFユニックスビル4F

電話：024-502-1115 (代表)

畜産酪農懇談会 第1回セミナー 講演者等プロフィール

【座長】

○ 内藤 廣信（ないとう ひろのぶ）氏

大学卒業後、社団法人中央畜産会入社。同会指導部長、同会常務理事を歴任。原子力損害賠償紛争審査会専門委員、食料・農業・農村政策審議会臨時委員、農林水産祭専門委員、一般社団法人全国肉用牛振興基金協会事務局長等を経て、平成30年3月まで同協会参与。

【講師（基調講演）】

○ 萬田 富治（まんだ とみはる）氏

〔(公社)福島相双復興推進機構 技術参与〕

農林水産省草地試験場主任研究官（那須）、同北海道農業試験場（芽室・札幌）、同中国農業試験場（島根県大田市）、同畜産試験場（つくば）、農研機構畜産草地研究所副所長（那須）、北里大学獣医学部教授（十和田）・附属フィールドサイエンスセンター長（八雲）、(公財)生物科学安全研究所理事長（相模原）等を経て、現在、公益社団法人福島相双推進機構技術参与、(一財)生物科学安全研究所顧問。

試験場や大学で教育研究を続けてきた日本における草地畜産のパイオニア、全国で先導的な経営に取り組む生産者と幅広く交流、現場に学ぶ信条。

【講師（先進事例紹介）】

○ 眞嶋 雄二（まじま ゆうじ）氏

〔眞嶋牧場（酪農）・那須塩原市〕

東京から単身で栃木県那須塩原市に入植し、半世紀以上にわたって、環境に調和する酪農を実践し、地域の酪農の仲間のレベルアップに貢献できるよう取り組んできた、地域のリーダー的存在。

家族経営の中で、自動化や効率化による生産性向上を工夫し続け、200頭規模の牧場経営を実現。同時に、自動化や効率化で得たゆとりを大切にし、ご家族は農場での農産物を活かしたパン屋を営むなど、酪農による、豊かさのある生活スタイルを体現されている。

○ 益子 光洋（ましこ みつひろ）氏

〔(株)益子農林（和牛繁殖、林業、等）、茨城県大子町〕

茨城県大子町で和牛繁殖を中核に林業、そば栽培による複合経営を実践する(株)益子農林代表取締役。和牛繁殖では、周年放牧を取り入れ、省力化の技術（チェーンブロック三脚、可搬給飼柵）を農研機構と開発し、中山間地ながら規模拡大。

また、常陸大宮普及センターと連携し、「(株)大子町アグリネットワーク」を組織し代表取締役に着任。耕作放棄地対策（飼料米生産や放牧等）に取り組むが、地元農家が、日々の労働・生活スタイルの中で無理なく協力できる作業体系を創意工夫し、地域での協働作業が持続する仕組みをつくっている。

「畜産酪農懇談会」について

1. 「畜産酪農懇談会」を開催します(趣旨)

- 相双地域においては、震災前から畜産・酪農が農業の基幹的な地位を占めており、その再開が農業復興の重要課題。
- この地域では、畜産農家同士の結びつきに加え耕種農家との協力で循環型の農業／耕畜連携が行われてきたが震災で途切れ、その回復が急務。
- したがって、地域農業の再開のためにも、畜産・酪農の再生は不可欠。
- 畜産・酪農の担い手には、飼料の確保、ふん尿処理など様々な解決すべき共通する課題があり、このため、こうした課題を共有し、その解決に向けて先進事例を互いに学び合うなど、ネットワークの場として、「畜産酪農懇談会」を開催します。

2. 畜産酪農懇談会の取組内容(予定)

以下のような取組を、月一回程度、行います。

- ・福島相双復興官民合同チームからの畜産酪農関係の情報提供。
- ・県内外の土地利用型・資源循環型畜産酪農の優良・先進事例の見学ツアー。
- ・有識者を交えたセミナー、シンポジウム 等。

※福島相双復興官民合同チームの技術参与(畜産酪農)である萬田富治先生のご指導をいただきながら企画します。

3. 畜産酪農懇談会への参加

- ・相双地域で、畜産酪農の再開に取り組まれている／あるいは取り組もうとされている皆様の参加をお待ちしております(さらに、畜産関係機関の皆様、耕畜連携している耕作農家の皆様等のご参加も歓迎いたします)。
- ・メンバー登録は無料です。
- ・メンバー登録しても、活動／参加義務はなく、ご予約のあう企画にお気軽にご参加ください。

4. その他

- ・福島相双復興官民合同チーム営農再開グループ調整課・畜産担当六次化支援室が事務局をつとめます。
- ・既に、地域ごとの畜産勉強会の単位などで同様の取組を行っている場合がありますが、地域の枠を超えた勉強・交流の機会として企画します。

以上

※今回のセミナーは、「畜産酪農懇談会」(ネットワーク活動)の取組のひとつとなります。